

朝倉市人口ビジョン(概要版)

2020年(令和2年)3月改定

中長期展望人口ビジョン(2060年を視野)

人口減少問題の克服

2060年(令和42年)の朝倉市の人口
 国立社会保障・人口問題研究所は約20,700人と推計

人口減少の歯止め

1 市民が希望する出生率の実現

希望出生率1.86

2 人口移動の均衡の実現

2045年(令和27年)転出入差引「0」

人口の展望

本市の将来人口について、市民の希望の実現性を前提に、国の長期ビジョンと同様に2060年(令和42年)までを展望します。

また、将来人口を展望するにあたっては、自然増減については市民が希望する出生率1.86及び人口が超長期に均衡する出生率2.07の達成年を設定、また社会増減については人口移動の均衡年を2045年(令和27年)に設定し、3つのケースで推計します。

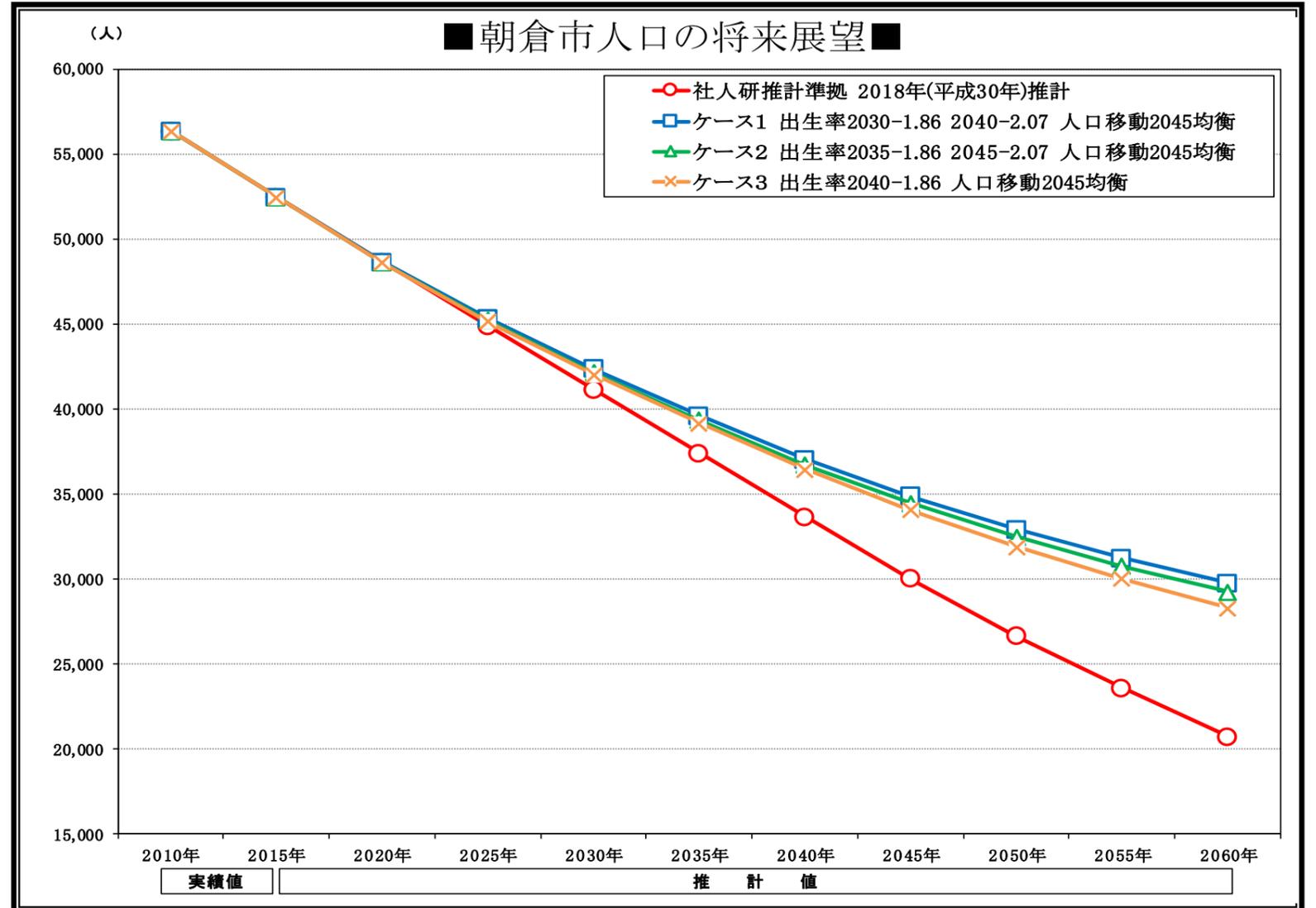
ケース	出生率1.86の達成年	出生率2.17の達成年	人口移動の均衡年
1	2030年(令和12年)	2040年(令和22年)	2045年(令和27年)
2	2035年(令和17年)	2045年(令和27年)	2045年(令和27年)
3	2040年(令和22年)	出生率1.86で推移	2045年(令和27年)

上向き修正

朝倉市は

約28,300人～29,800人を維持すると推計

これらの前提により、朝倉市の将来人口を展望すると、2040年(令和22年)には、約36,400人～37,000人、その後も人口減少は緩やかになりながらも継続し、2060年(令和42年)には、約28,300人～29,800人となることが推計されます。



	実績値		推計値								
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
社人研推計準拠 2018年(平成30年)推計			48,659	44,888	41,150	37,411	33,658	30,016	26,661	23,584	20,716
ケース1 出生率2030-1.86 2040-2.07	56,353	52,444	48,660	45,324	42,349	39,608	37,045	34,857	32,911	31,231	29,757
ケース2 出生率2035-1.86 2045-2.07			48,622	45,221	42,159	39,337	36,690	34,476	32,494	30,766	29,240
ケース3 出生率2040-1.86			48,600	45,160	42,045	39,158	36,432	34,059	31,913	30,014	28,297
人口移動 2045均衡											

(出典) 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部提供資料を基に作成